コウノトリ
毎週月曜日更新

カタカタ通信

第２５６号
２０２６年１１月２３日

「少し動き出す？」

１１月上旬になり、秋をゆっくり過ごしていました。空は、除草後の草を池に入れてよく遊んでいました。ある日、久しぶりにくわえた草を巣台に運びました。その後、さらに枝も２回運びます。この日は巣台に上がる回数も増えました。


枝をくわえて巣台へ飛び乗る空


なにやら巣台をいじる２羽

繁殖モードを彷彿とさせる様子に、（動き出すのはまだ早いよ）と心の中でつぶやきました。早くその気になってくれてもいいんじゃない？と思われるかもしれませんが、まだやめておいてほしい理由があります。


枝をくわえてきた空（下）


空は巣の上に。花も枝を拾いました


巣台の上下で枝の取り合い

まずは雪対策です。この春は、産卵してすぐの頃に雪が降りました。雪がたくさん降ると、安全のためにコウノトリを小ケージに移さなければなりません。産卵期間中の移動によるストレスで、もし卵が詰まってしまうと母体に危険がおよぶこともあります。雪が降ると毎回、移動しようか、いや、しないでおくか…と悩まされ、とても神経を使います。

また、今のところ有精卵がない空花ペアは、今後も托卵を行う可能性があります。ほかの施設のペアよりも産卵が早すぎると、いただける卵の選択肢が少なくなってしまうこともあるので、今年の春よりも少しゆっくり進めてもらえると助かるのです。かといって、極端な変化をつけると過度なストレスになるかもしれません。

そこで、今回は巣材を与える時期を少し遅らせることにしました。また、繁殖モードを促すビタミン剤の開始の時期も遅らせるか考え中です。この程度では効かないかもしれません。でも念には念を。弱めに少しずつやってみて様子を見ます。

幸い、気になる動きがあったのはこの１日だけでした。その後はまたのんびりしているようで、ひとまずほっとしました。



池を草でいっぱいにした空

天空の里　鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：最長老